

第 396 回

日本泌尿器科学会新潟地方会

《 プログラム・抄録 》

日 時：令和 3 年 3 月 13 日（土）13 時 50 分～15 時 40 分

会 場：ホテルオークラ新潟 4 階『コンチネンタルルーム』

新潟市中央区川端町 6-53

TEL：025-224-6111

次回 第 397 回 新潟地方会

（甲信越合同地方会） 予告

日時：令和 3 年 6 月 12 日（土）

会場：未定（甲府市）

演題申込期限：令和 3 年 5 月 21 日（金曜日）

※すべて PC のみの発表とさせていただきます

※一般口演時間は、7 分、討論 3 分（時間厳守）

日本泌尿器科学会会員証を必ずご持参下さい

〒951-8510 新潟市中央区旭町通 1-757

新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野(泌尿器科学教室)内

日本泌尿器科学会新潟地方会

TEL：025（227）2289／FAX：025（227）0784

会長 富田 善彦

13 : 50~14 : 50

座長 池田 正博

1. 当院における悪性疾患による尿管閉塞 (Malignant Ureteral Obstruction : MUO) に対するドレナージ術の検討

新潟市民病院 泌尿器科
石田恭平、安楽力、今井智之、川上芳明

2011年1月から2020年12月までの10年間に、当院で悪性腫瘍による尿管閉塞に対してドレナージ術を行った70例について、全生存率やステント不全の発生について後方視的に調査した。平均年齢69歳、癌種は泌尿器癌27例、消化器癌26例、婦人科癌8例、その他9例であった。ドレナージ法は腎瘻48例、尿管ステント22例で、ステント留置群において観察期間中(中央値3.5ヶ月、1~32ヶ月)にステント不全が7例で認められた。

2. オリゴ転移性前立腺癌に対する集学的治療の試み

新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 泌尿器科¹⁾、放射線治療科²⁾、放射線診断科³⁾
渡邊和博¹⁾、川口弦²⁾、池田洋平³⁾、原昇¹⁾、西山勉¹⁾

オリゴ転移性前立腺癌に対して全身療法に加えて積極的局所療法を試みている。前立腺部位の放射線治療又は手術療法と画像診断上確認できる転移部位すべてを放射線治療ができると判断した12例と前立腺全摘除術後の恥骨再発の1例を組み入れた。転移部位は骨転移が11例、傍大動脈リンパ節転移が2例であった。骨転移数は1カ所が7例、2カ所が3例、3カ所が1例であった。6例でドセタキセル療法を併用した。前立腺部位に対しては12例中11例で放射線治療(60~74Gy)を行った。前立腺部位に根治放射線照射を行うと転移部位への十分な線量を照射できないと判断した1例に対して前立腺全摘除術を行った。すべての転移部位に対して放射線治療(45~60Gy)を行った。3例で治療中にPSA値の再上昇を認め、ピカルタミドからエンザルタミドへ変更した。治療終了患者は4例で、テストステロン値が正常値まで回復した1症例ではPSA値は測定感度以下を維持している。少数例の経験であるが、オリゴ転移性前立腺癌に対して全身療法に加えて積極的局所療法を行うことは期待できる治療法と考える。

3. 原発性膀胱尿管逆流症に対する Deflux を用いた内視鏡的注入療法後に無症候性の遅延型尿管狭窄を生じた一例

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野
星野さや香、小原健司、星井達彦、山名一寿、信下智広、白野侑子、富田善彦

症例は4歳女児。国際分類、右側II度、左側III度の原発性膀胱尿管逆流症に対して Deflux を用いた内視鏡的注入療法を施行した。術後7か月の超音波検査にて、術後早期には認めなかった両側水腎尿管症を認めた。観血的手術の術中所見で右尿管口に直径14mm、左尿管口に直径16mmの結節を認めた。尿管剥離の際に結節壁を切開すると黄白色粘液の流出を認めた。

4. 当院における腹圧性尿失禁に対して Advantage Fit™を用いた TVT 手術の初期経験

亀田第一病院 泌尿器科¹⁾、産婦人科²⁾
ビリーム ウラジミル¹⁾、新井繁²⁾、渡邊信也²⁾

腹圧性尿失禁は 40 歳代後半以降の女性に多く、3-4 人に 1 人は経験すると報告される。治療は行動療法、骨盤底筋訓練、 $\beta 2$ アドレナリン受容体刺激剤による薬物療法といった非侵襲的治療があるが、重症例には効果不十分であることも少なくない。2019 年 4 月から 2020 年 11 月の間に保存的治療が無効であった 6 症例に Boston Scientific 社の Advantage Fit™を用いて TVT (tension-free vaginal tape) 手術を行った。年齢は 48 歳から 85 歳 (平均 75.33 歳、SD13.98、中央値 80.00 歳)。性器脱手術の既往は 4 例であった (TVM2 例、中央腔閉鎖術 2 例)。入院は 4~10 日間 (平均 6.00 日、SD2.19、中央値 5.00 日)、手術時間は 20~50 分 (平均 34.00 分、SD11.54、中央値 33.00 分) であった。術中に骨盤臓器損傷はなく、出血は少量のみであった。術後に出血や尿路感染症はなかった。1 例が術後尿閉となり、テープを引き下げて緩める再手術をおこなったため 10 日間の入院期間を要した。最長観察期間は 16 か月であった。退院後、5 例はパット 0 枚、1 例は改善が見られたものの、神経因性膀胱によると思われる尿失禁が継続しておりパットを使用している。禁制コントロールは良好であり、全例で残尿を認めていない。Advantage Fit™を用いての TVT 手術は安全であり、かつ症状改善において有効であると思われた。患者さんの慎重な選択は必要である。OAB、混合性尿失禁、認知症による尿失禁および神経因性膀胱による尿失禁を除外が必要だと思われる。

5. 超高齢者の巨大陰嚢水腫の 1 例

新潟県立吉田病院 泌尿器科
若月俊二

85 歳もしくは 90 歳以上を超高齢者とするが、当地では 90 歳以上人口が 1600 人以上居住され、泌尿器科のニーズが高い地域である。また高齢化とともに認知症患者も増加して、2020 年の 65 歳以上の高齢者の認知症有病率は 16.7%、約 6 人に 1 人が認知症と推計されている。今回認知症および独居であるがために放置されていた超高齢者の陰嚢水腫を経験したので報告する。

6. 新潟医療センターにおける尿路結石治療 30 年の変遷と最近の TUL

新潟医療センター 泌尿器科¹⁾、ささかわ腎泌尿器科クリニック²⁾、うちやま医院³⁾
木村元彦¹⁾、志村尚宣¹⁾、笹川亨²⁾、内山武司³⁾

ESWL 時代には機種変更や治療速度など治療成績を規定する因子を検討してきた。TUL 時代となって両側同時 TUL や緊急 TUL などを試みた。アクセスシースの太さは 12Fr (内径) /14Fr (外径) から最近では 10/12 ないし 11/13 に移行した。2010 年 2 月から 2020 年 6 月までに試みた TUL 初回治療件数は 1265 件。うち碎石可能であったのは 1144 件で、内訳は完全排石 1052 (完全排石率 83%) + 有効のみ 27+残石 17+再手術 48 であった。121 件は difficult ureter などのため碎石不能であったが、うち 111 例 (全体の 8%) で尿管ステント留置 (prestenting) には成功し、これらは後日 2 期的 TUL を完遂した。

《 休 憩 14:50~15:10 》

15:10~15:40 日本泌尿器科学会新潟地方会総会

地方会総会終了後、15:50 より第 35 回新潟泌尿器腫瘍セミナーが予定されています。

第35回新潟泌尿器腫瘍セミナー

日時

2021年3月13日(土) 15:50~17:00

会場

ホテルオークラ新潟 4F「コンチネンタル」
新潟市中央区川端町6-53 TEL:025--224-6111

総合司会

富田 善彦 先生

新潟大学特命理事 医歯学総合病院長 (泌尿器科教授)

講演 I

15:50~16:20

大橋 瑠子 先生

新潟大学 医学部 病理組織標本センター 助教

「腎癌病理Update post WHO 2016
- 腎癌取扱い規約とWHO分類の今とこれから -」

講演 II

16:20~17:00

佐々 直人 先生

愛知医科大学 泌尿器科学講座 教授

「腎癌薬物療法におけるICI併用療法の魅力」

- ・当日は軽食をご用意しております。
- ・参加費として1,000円徴収させていただきます
- ・本セミナーは日本泌尿器科学会専門医制度(3単位)が認められております
- ・本セミナーは地方会開催期間中のため、一般参加者の交通手配は行えません。ご了承ください。

共催 新潟泌尿器腫瘍セミナー

小野薬品工業株式会社 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

研究会参加者健康チェック票

研究会名：第396回日本泌尿器科学会新潟地方会

日 時：2021年3月13日（土） 13：50～

所 属：_____

氏 名：_____

自宅電話番号：_____

| | チェック日 | 体温 (°C) | 症 状※ | | | | | | | | |
|------|-------|------------|------|-----------|------------|----|-----------|-----------|------|-----|------------|
| | | 朝 | 咳 | のどの 痛み | 鼻水・ 鼻詰り | 頭痛 | 下痢・ 腹痛 | 強い だるさ | 息苦しさ | その他 | 左記 すべて無 |
| 1日目 | 2月28日 | | | | | | | | | | |
| 2日目 | 3月1日 | | | | | | | | | | |
| 3日目 | 3月2日 | | | | | | | | | | |
| 4日目 | 3月3日 | | | | | | | | | | |
| 5日目 | 3月4日 | | | | | | | | | | |
| 6日目 | 3月5日 | | | | | | | | | | |
| 7日目 | 3月6日 | | | | | | | | | | |
| 8日目 | 3月7日 | | | | | | | | | | |
| 9日目 | 3月8日 | | | | | | | | | | |
| 10日目 | 3月9日 | | | | | | | | | | |
| 11日目 | 3月10日 | | | | | | | | | | |
| 12日目 | 3月11日 | | | | | | | | | | |
| 13日目 | 3月12日 | | | | | | | | | | |
| 14日目 | 3月13日 | | | | | | | | | | |

自ら行った対処 { _____ }

(例) ○月○日医療機関を受診した, ○月○日に保健所に連絡した, ○月○日市販薬を内服した, などを

※ 症状の各項目に, ある場合は○, すべて該当しない場合には「左記すべて無」に○を付けてください.